

食見地区周辺海域調査

1 はじめに

福井県海浜自然センターが位置する食見海岸は、常神半島と黒崎半島に囲まれた世久見湾南部にある。湾内の4箇所30.2haの海域は、すぐれた海中景観を有することから、福井県では唯一の海中公園（三方海中公園）に指定されている。これらの海域において継続的な調査により藻場や生物相の現状把握に努めることは、当該海域の環境保全および普及啓発を推進する上で重要といえる。そこで、当センターでは平成11年度から当該海域において藻場および生物相の調査を継続的に実施している。

2 海水温測定

(1) 調査地点および方法

センター地先船着き場内において、可能な限り毎日午前9時に表層から1m以浅で水温の測定を行った。

(2) 結果

図1に平成19年度の各月の平均水温を示した。4月の平均水温は13.0℃、5月16.2℃、6月20.2℃、7月22.7℃、8月25.1℃、9月26.0℃、10月22.6℃、11月18.7℃、12月15.3℃、平成20年1月12.5℃、2月9.6℃、3月10.1℃であった。

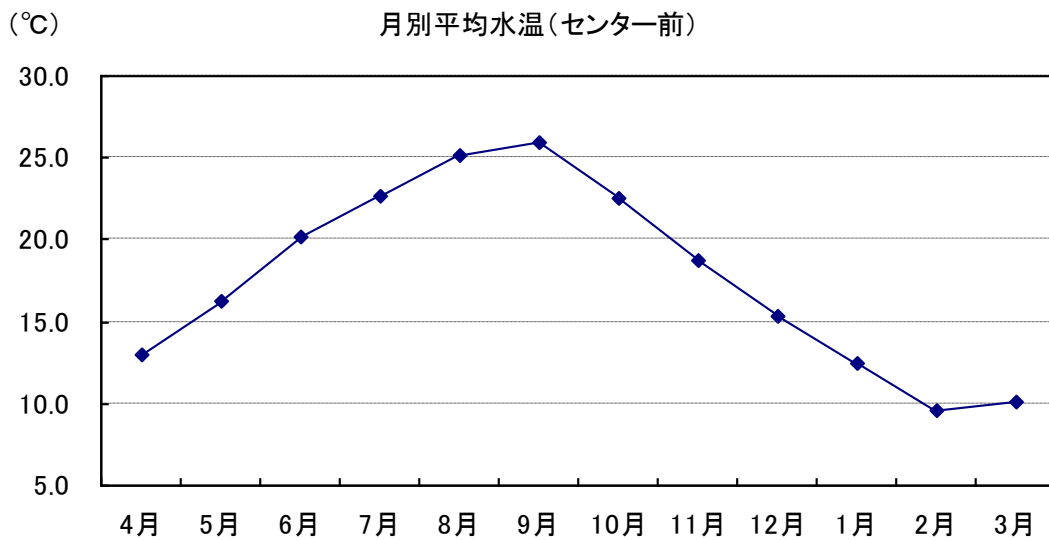


図1 センター前月別平均水温(平成19年度)

3 生物相調査

(1) 目的

食見地区沿岸海域の生物相とその経年変化を明らかにする。

(2) 調査地と方法

調査は、平成 19 年 10 月 2 日に世久見湾奥の海浜自然センター北側に隣接する遊歩道地先海域において実施した。

3m四方のコドラートを 3 箇所設置し (図 2)、スノーケリングによる目視観察によって、コドラート内に出現する無脊椎動物 (軟体動物、甲殻類、棘皮動物、環形動物、刺胞動物)、魚類について記録した。目視観察は、二人一組で 20 分間行い、表 1 の基準にしたがって記録した。いずれの分類群についても微小な個体や岩の下、割れ目の奥などに隠れているものは調査対象から除外した。

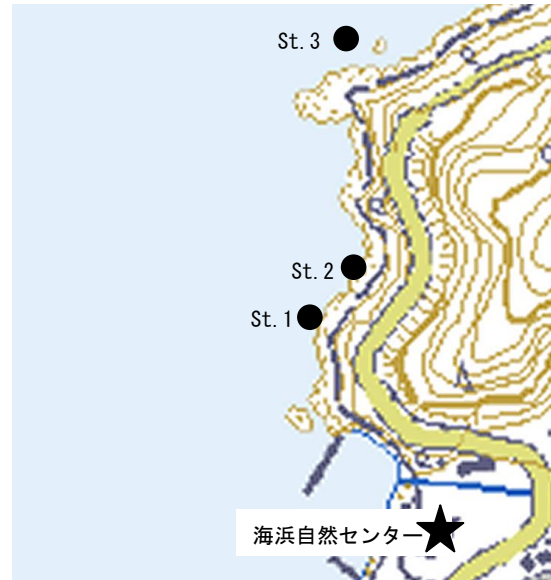


図 2 生物相調査地点

表 1 記録方法

分類群	記録方法	
無脊椎動物	軟体動物 (貝類、イカ類、タコ類)、甲殻類 (エビ類、カニ類)、棘皮動物 (ヒトデ類・ウニ類・ナマコ類・ウミシダ類)、環形動物 (ケヤリムシ類)	1~9個体：－ 10~19個体：＋ 20個体以上：＋＋
	刺胞動物 (イソギンチャク類・クラゲ類)	被度 1%未満：－ 被度 1%以上：＋
魚類	種類と個体数について記録する。 A：1個体 B：2~10個体 C：11~50個体 D：51個体以上	

(3) 結果

調査地の水深は、St. 1 が 0.8~2m、St. 2 が 1.2m、St. 3 が 2~3.5mであった。底質は、St. 1 では砂利の中に転石が点在していた。St. 2 および St. 3 では巨礫が主体であった。結果を表 2~3 に示した。無脊椎動物については、10 目 13 科 18 種、魚類については、3 目 12 科 17 種が確認された。

表 2 定点調査地点結果（無脊椎動物）

門	綱	目	科	種名	St. 1	St. 2	St. 3
刺胞 軟体	鉢虫	旗口クラゲ	ミズクラゲ	ミズクラゲ	-	-	-
	多板	新ヒザラガイ	ケムシヒザラガイ	ケムシヒザラガイ	-	-	-
			クサズリガイ	ヒザラガイ	-	-	-
	二枚貝	カキ	イタボガキ	イワガキ	-	-	-
	腹足	古腹足	サザエ	ウラウスガイ サザエ	-	-	++
			ニシキボウズ	イシダタミガイ オオコシダカガンガラ クボガイ ヘソアキクボガイ ヒメクボガイ	- ++	+ ++ ++ ++	-
			新腹足	アッキガイ	レイシガイ	+	-
		後鰓	アメフラシ	アメフラシ	-	-	-
	節足	軟甲	十脚	ホンヤドカリ	ケアシホンヤドカリ	-	-
	棘皮	ウニ	ホンウニ	オオバフンウニ	バフンウニ	-	-
ナガウニ				ムラサキウニ	++	-	+
クモヒトデ		クモヒトデ	クモヒトデ	クモヒトデ	-	-	-
ヒトデ		ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ	-	-	-
4門	8綱	10目	13科	18種	9種	14種	5種

表 3 定点調査地点結果（魚類）

目	科	種名	St. 1	St. 2	St. 3	
カサゴ	フサカサゴ	カサゴ	A	A	A	
	アイナメ	アイナメ クジメ	A	A		
	カジカ	アナハゼ	A			
スズキ	フエダイ	ヨコスジフエダイ		A		
	キンチャクダイ	キンチャクダイ			A	
	メジナ	メジナ		A		
	ウミタナゴ	ウミタナゴ	A			
	スズメダイ	スズメダイ				C
		ソラスズメダイ				B
	ベラ	ホンベラ		C	C	C
		オハグロベラ				A
キュウセン					A	
ヘビギンポ	ヘビギンポ	A	A			
イソギンポ	ニジギンポ		A		A	
	ナベカ		B			
フグ	カワハギ	カワハギ	A		B	
3目	12科	17種	9種	6種	9種	

4 ウミガメ調査

(1) 目的

定置網で混獲されたウミガメ類を調査することにより、日本海におけるウミガメ類の回遊状況解明の一助とする。

(2) 方法

沿海漁協へ調査票を配布し、ウミガメ類が混獲された場合に報告をうける体制を整えた。混獲されたウミガメ類が、漁港まで運搬されている場合、現地に赴き、種類、大きさを記録した後、標識を装着して放流した。

(3) 結果

アオウミガメ 8 頭、不明 1 頭の計 9 頭の混獲報告があった。そのうちアオウミガメ 5 頭について、標識を装着し放流した。

混獲、標識放流の記録は、標識放流調査の取りまとめ機関である日本ウミガメ協議会へ報告した。

発見日	種名	発見場所等		大きさ			処理	備考
				甲長	甲幅	体重		
2007年4月1日	アオウミガメ	日向漁業協同組合	定置網	40.6cm	34.6cm	8.25kg	再捕個体 タグ装着後放流	右後肢:W26106、左後肢:W26105 2002年1月1日小笠原父島大村海岸で放流された個体
2007年5月12日	不明	日向漁業協同組合	定置網:定23	約100cm			-	乗組員の情報、詳細不明
2007年8月11日	アオウミガメ	日向漁業協同組合	定置網:定22				-	写真にて確認
2007年9月11日	アオウミガメ	世久見大敷網	定置網	約80cm			タグ装着後放流	アルゴス発信機装着 9月12日に千島から放流
2007年10月1日	アオウミガメ	日向漁業協同組合	定置網	45.2cm	39.2cm		タグ装着後放流	右前肢:JPN57303 左前肢:JPN57304 食見海岸から放流
2007年10月29日	アオウミガメ	美浜町漁協丹生支所	定置網:定22	約80cm			-	報告のみ 金庫網で死亡
2007年10月29日	アオウミガメ	美浜町漁協丹生支所	定置網:定22	約80cm			-	報告のみ 金庫網で死亡
2007年11月9日	アオウミガメ	日向漁業協同組合	定置網	66.8cm	51.5cm	36.5kg	タグ装着後放流	右前肢:JPN57313 左前肢:JPN57314 日向漁港沖で放流
2008年1月29日	アオウミガメ	日向漁業協同組合	定置網:境戸	51cm	45.1cm		タグ装着後放流	右前肢:JPN57306 左前肢:JPN57305 食見海岸から放流